

令和8年度 総務企画委員会 県内所管事務調査の概要

令和8年5月11日（月）

◆調査箇所：椿山ジビエ（佐伯市弥生）

【概要】

宮脇洋尚氏は、捕獲したイノシシ及びシカを衛生的に解体処理し精肉・販売までを行う処理施設を整備するとともに、普及・販路開拓を一体的に実施し、農林業被害の防止及びジビエの有効活用に取り組んでいる。

今回の調査では、解体処理施設の視察を行うとともに、同氏による有害鳥獣の捕獲、処理、販売の状況について説明を受け、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・施設整備における保健所との関わりについて
- ・鳥獣の捕獲状況と報償金について
- ・ジビエの製品化、販売方法及び収支について

◆調査箇所：南部振興局

【概要】

南部振興局における組織及び人員、危機管理対策（令和7年度の地区災害対策本部の対応、南海トラフ地震対策、特定家畜伝染病対策）、地方創生への取組（地域未来創造総合補助金）、持続可能な地域づくりの推進（ネットワーク・コミュニティ推進体制整備事業、高齢化集落等支援事業費補助金）、移住・定住対策等について説明を受け、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・ネットワーク・コミュニティ形成に当たっての支援の工夫について
- ・移住対策における実績人数の計上方法について
- ・佐伯市における防災訓練の実施状況について

◆調査箇所：佐伯特定地域づくり事業協同組合（佐伯市鶴望）

【概要】

佐伯特定地域づくり事業協同組合は、特定地域づくり事業協同組合制度を活用して佐伯市内への移住定住の促進を目的として設立された。地域の事業者が集まり社会人野球チームを作るとともに、各事業所へ労働者派遣を行い、球団引退後には組合員企業が直接雇用することを推奨している。

当日は、同組合の事業所との関わり等について調査するとともに、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・特定地域づくり事業の認可手続及び社員の働き方の仕組みについて
- ・選手の確保方法、チーム編成及び入れ替わりの状況について
- ・地元企業での派遣受入れ及び就職の状況について

◆調査箇所：米水津地域コミュニティ協議会（佐伯市米水津）

【概要】

米水津地域コミュニティ協議会は、少子高齢化や過疎化が進む米水津地域の地域課題に取り組むため、令和5年3月に設立された。協議会では、草刈りや剪定作業などのボランティア活動、草刈機講習会、映画会、防災キャンプ等を行い、全大会や委員会を定期的を開催することにより、情報共有をしながら地域での活動に取り組んでいる。

当日は、協議会の経緯や活動内容について調査するとともに、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・防災訓練における運営と参加呼び掛けの工夫について
- ・外国人労働者の主な国籍や言葉の壁の問題について
- ・若い世代の参加等による持続可能な運営体制の構築について

令和8年5月12日（火）

◆調査箇所：松尾・鷺谷振興協議会（豊後大野市三重町）

【概要】

松尾・鷺谷振興協議会は、四つの地区で構成され、95世帯、174名（令和7年3月末）で高齢化率が66.7%であり、地域が一つの家族となって助け合うため、旧三重南小学校を拠点施設「あかい屋根の郷」として整備し、自然体験活動により年間6,500人以上の利用者を呼び込む等の取組を行っている。

当日は、地域の現状や協議会による施設整備と活用状況を調査し、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・川遊びフェスタ等の交流イベントの実施状況について
- ・地域住民参加型イベントへの切替えについて
- ・簡易宿所営業の許可申請及び拠点施設における消防設備の整備について

◆調査箇所：きよかわ振興協議会（豊後大野市清川町）

【概要】

きよかわ振興協議会は、地域の医療機関の閉院の動きに対して対応することを契機として、町の課題解決のため、各地区から参加者を募って令和4年8月に設立された。同協議会は、町内で訪問型生活実態調査を行って課題を洗い出し、スマホ教室や健康体操、移動支援の実証実験等を行っている。

当日は、協議会の設立経緯や活動拠点の状況、暮らしのサポート事業（有償のお手伝い）等について調査し、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・役員の高齢化について
- ・eスポーツなどのレクリエーションの内容について
- ・移動支援の状況や今後の課題について

◆調査箇所：豊肥振興局

【概要】

豊肥振興局における組織及び人員、管内の概況と特性等、令和8年度重点項目（農林業の振興、ツーリズム振興等）、地区災害対策、特定家畜伝染病防疫対策、地域活性化施策の推進（地域未来創造総合補助金、高齢化集落等支援事業費補助金）等について説明を受け、質疑と意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・地域未来創造総合補助金の周知方法について
- ・空き家ビジネス活用支援事業の要件について
- ・地域団体における自主財源の確保について

◆調査箇所：牟礼鶴酒造合資会社（豊後大野市朝地町）

【概要】

牟礼鶴酒造合資会社は、朝倉文夫記念館に植えられている梅を活用した梅酒を商品化し、同記念館や朝地町の認知度向上を図る取組を行っている。また、焼酎蔵の見学や伝統文化を体験するツアーを実施し、地域への誘客促進にも取り組んでいる。

当日は、梅酒を開発した経緯や「くらくらくら祭」の取組について調査するとともに、焼酎蔵を視察し、質疑及び意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・梅酒の生産状況について
- ・ラベルのデザインにおける工夫について
- ・海外販路の拡大について

令和8年5月18日（月）

◆調査箇所：中部振興局、公文書館、大分県税事務所

【概要】

中部振興局における管内の概況、組織と施策体系、危機管理（防災対策の推進、特定家畜伝染病対策）、地域創生（重点課題、高齢化集落対策、地域活力づくり総合補助金）、公文書館における組織及び職員、主な業務、収蔵資料、事業概要等について、大分県税事務所における管内の状況、組織及び所管事務、令和7年度県税決算見込額、税目別調定額及び徴収率の推移、特別滞納整理室の処理状況等について、それぞれ説明を受け、質疑及び意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・市町村におけるネットワークコミュニティの取組方法について
- ・空き家を壊すと固定資産税が上がる問題について
- ・市町村における公文書の保存に関する取組について

◆調査箇所：株式会社臼杵造船所（臼杵市大字板知屋）

【概要】

株式会社臼杵造船所は、前身の臼杵鉄工所の設備等を引き継いで昭和63年8月に設立され、150人の従業員と21社の協力会社により、ケミカルタンカーやフェリー等の大型船舶の建造を行っている。近年は二相ステンレス鋼を利用した強度・経済性に優れたタンカーの建造を行い、世界の造船業をリードしている。

当日は、造船業を取り巻く状況や、同社の概要、船舶の受注状況、進水式の実施、ゲストハウスの運営などについて説明を受け、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・造船技術者の確保と育成について
- ・近隣の高等学校との連携について
- ・ゲストハウスの運営状況について

◆調査箇所：臼杵市多世代交流館「のつてらす」（臼杵市野津町）

【概要】

「のつてらす」は、平成26年に廃校となった県立野津高校の建物を再活用し、多世代交流館として令和7年4月にオープンした。1年強で4万4千人以上が来場し、臼杵市外からも多くの方が利用している。こどもたちが自由に遊べる遊具や休憩スペースのほか、飲食の出店や地元の野菜販売なども行われ、地域活性化の拠点として注目を集めている。

当日は、施設の整備内容や運営状況について説明を受け、質疑及び意見交換を行い、施設見学を行った。



<主な質疑等>

- ・県有財産の購入に当たっての経緯について
- ・建物のバリアフリー化の検討について
- ・運営経費及び収入確保について

◆調査箇所：NPO法人由布院アートストック（由布市湯布院町）

【概要】

NPO法人由布院アートストックは、東勝吉氏を中心とした由布院盆地に縁のある美術活動者の支援、作品の記録・蓄蔵・活用などを行うことにより、創造的な地域文化の継承と育成に寄与することを目的に平成10年に設立され、平成20年8月にNPO法人となった。

当日は、東勝吉氏の作品の保存・活用の状況や地域の芸術振興の取組について説明を受けるとともに、東勝吉氏の作品を鑑賞し、今後の取組等について質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・東氏の作品がコレクションとなった経緯について
- ・水彩画の修復や保存の対策について
- ・こどもや学校に対するアプローチについて

令和8年5月22日（金）

◆調査箇所：東部振興局、別府県税事務所

【概要】

東部振興局における管内の人口推移、組織及び人員、災害対策・危機管理、地域未来創造総合補助金を活用した地域活性化の推進、高齢化集落対策、別府県税事務所における組織及び職員の状況、令和8年度重点取組事項、令和7年度県税決算見込額、税目別調定額及び徴収率の推移について、それぞれ説明を受け、質疑及び意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・市町村ごとの自治区等の数の差について
- ・国東沖活断層に関する災害対策や市民の意識変化について
- ・地域未来創造総合補助金による誘客事業の成果について

◆調査箇所：O s t r a株式会社（国東市国見町）

【概要】

O s t r a株式会社は、養殖池でのフリップファーム方式による養殖マガキ「O s t r a K U N I S A K I」の生産を行っている。環境が安定した養殖池において専用のカゴを定期的に回転させ、シングルシード方式で育てる技術によって育つかきは身が大きく味も良いため、国東市のふるさと納税の返礼品としても採用されている。

当日は、養殖の環境や育成方法、販売の状況について説明を受けるとともに、質疑及び意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・カキ養殖技術の研究や導入について
- ・夏場におけるカキの生育状況について
- ・くにさきオイスターフェアの取組状況について

◆調査箇所：一般社団法人姫島エコツーリズム（姫島村）

【概要】

一般社団法人姫島エコツーリズムは、姫島村の観光客の交通手段が不足していることやエネルギーの島外依存といった課題を解決するため、太陽光の蓄電システムとEVレンタル車両を導入し、離島における持続可能な地域づくりに貢献している。

当日は、EVレンタカーの導入と活用状況や車えびつかみどり大会の取組について説明を受けるとともに、設備の視察やEVレンタカーを試乗し、質疑及び意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・EV車両の稼働状況及び耐用期間について
- ・観光客の滞在時間について
- ・車えびつかみどり大会の参加状況について

◆調査箇所：姫島港フェリー乗り場内売店（姫島村）

【概要】

株式会社おおいた姫島は、地域食材を活用した特産品の開発と販売を行っている。島内では飲食提供拠点が限られていることから、食事難民が課題となっており、これを解決するため、同社は姫島港船客待合所に食事の自動販売機を設置し、冷凍保存が可能な弁当等の販売を開始し、観光客等の利便性向上に貢献している。

当日は、特産品の開発状況や待合所の設備導入の状況について説明を受け、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・食事難民問題の状況について
- ・商品開発の状況について
- ・商品の生産方法について

令和8年5月28日（木）

◆調査箇所：万年山妙見様湧水活性化委員会（玖珠町山浦）

【概要】

万年山妙見様湧水活性化委員会は、地元の湧水が平成20年に環境省から平成の名水百選に認定されたことを契機として、「名水をいかした豆腐製品の製造及び販売」、「都市部との交流によるにぎわいづくり」を目的として設立された。豆腐、ざる豆腐、油揚げ、豆乳プリン等を製造して玖珠町や日田市等の計22施設で販売するとともに、山開きやそうめん流し等のイベント開催に取り組んでいる。

当日は組織運営や豆腐作り、イベント開催について説明を受けるとともに、質疑及び意見交換を行い、豆腐の製造施設を視察した。



<主な質疑等>

- ・豆腐製品の出荷先及び販路拡大について
- ・委員会の世代交代の状況について
- ・湧水が湧く地形や地質の価値を伝える重要性について

◆調査箇所：西部振興局、日田県税事務所

【概要】

西部振興局における管内の概況、組織・業務体系、危機管理（防災対策、特定家畜伝染病対策）、情報発信、地域創生部の業務（地域活性化施策の推進、高齢化集落対策の推進等）、日田県税事務所における管内の概況と組織、令和8年度重点実施事項、令和7年度県税決算見込額、収入未済額及び徴収率の推移等について、それぞれ説明を受け、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・屋形船の新たな予約システムの仕組みについて
- ・長期的な視野に立った地域未来創造総合補助金の支援について
- ・滞納整理における財産処分の方法について

◆調査箇所：日田ブループリント会議（日田市隈）

【概要】

日田ブループリント会議は、日田の未来を市民自身が描くための対話の場として日田青年会議所が中心となって設立した会議体である。同会議は日田市内各所の文化財・歴史的建造物・まちなか空間を使用して現代アート展示及びクラフト展示を行う日田藝術祭2025「ひたかくし」を開催し、アートを通じた地域活性化に取り組んでいる。

当日は、団体の設立経緯や芸術祭開催の取組状況について説明を受けるとともに、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・芸術祭を行う上で苦勞した点について
- ・メンバーの構成や継続性について
- ・日田市からの支援や連携の状況について

◆調査箇所：NPO法人リエラ（日田市隈）

【概要】

NPO法人リエラは、災害の被災地支援や防災活動支援のほか、日田市の委託を受け、令和元年から空き家バンクの調査・活用や情報発信を行い、移住を考えている家族の希望に応じた視察ツアー及び移住者交流会等を実施している。

当日は、移住定住支援に関する豊富な経験をもとに、移住体験ツアーや移住者交流会等について説明を受けるとともに、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・子育て世代の移住者に対する支援について
- ・移住希望者に関する日田市との情報共有について
- ・日田市居住支援協議会との連携について

令和8年5月29日（金）

◆調査箇所：北部校区青少年健全育成協議会（中津市）

【概要】

北部校区青少年健全育成協議会は、北部小学校区の自治委員会や老人会等の各種団体で構成され、あいさつ運動やPTA活動への支援などを行っている。同協議会は、福澤諭吉語録の配布に加え、語録の内容を記した看板の設置を行っており、郷土の偉人に対する関心を高め、地域に誇りを持つ心の育成にも取り組んでいる。

当日は、協議会の事業概要や語録看板設置等について説明を受けるとともに、質疑及び意見交換を行い、実際の語録看板の設置状況について視察を行った。



<主な質疑等>

- ・語録の選定方法について
- ・語録を目にしたこどもの反応や変化について
- ・近隣の学校との連携について

◆調査箇所：北部振興局、中津県税事務所

【概要】

北部振興局における管内人口の推移、組織及び人員、危機管理（防災関係、特定家畜伝染病対策）、地域の振興（地域未来創造総合補助金による支援）、宇佐神宮御鎮座1300年関連事業、中津県税事務所における組織及び所管事務、重点取組事項、令和7年度県税決算見込額、収入未済額及び徴収率の推移等について、それぞれ説明を受け、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

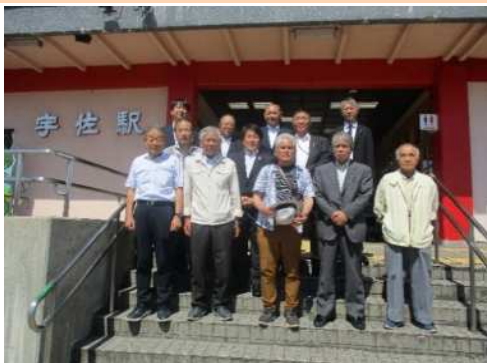
- ・地域未来創造総合補助金（空き家ビジネス活用支援枠）の採択要件の課題について
- ・ジビエの普及拡大に関する今後の連携について
- ・収入未済額増加の要因について

◆調査箇所：北馬城地区まちづくり協議会（宇佐市大字岩崎）

【概要】

北馬城地区まちづくり協議会は、将来も安心して暮らせる住民主体の地域づくりのために平成27年12月に設置され、宇佐市の特産品である黒大豆「宇佐クロダマル」を活用した収穫体験や豆腐作り体験など、年間を通して地域住民の交流や健康維持のための事業に取り組んでいる。

当日は、協議会が策定した地域づくり計画や専門部会の取組内容について説明を受け、質疑及び意見交換を行うとともに、リニューアル整備を行った宇佐駅の視察を実施した。



<主な質疑等>

- ・特産品開発部会による取組状況の詳細について
- ・ハッピーアイデアチャレンジ部会等によるアイデア出しの仕組みについて
- ・北馬城小学校との連携について

◆調査箇所：有限会社豊後農興（豊後高田市払田）

【概要】

有限会社豊後農興は、豊後高田市内を中心に米・麦・大豆の受託生産を行うとともに、水稻苗販売や、米のネット販売に取り組んでいる。米の収穫時に出る稲わらを畜産の肥育農家に供給し、肥育農家からは堆肥をもらって圃場に散布する循環型農業を実現し、化成肥料を使わず、同時にコスト削減を行っている。

当日は、作物の受託生産や新しい色彩選別機の活用状況等について説明を受け、質疑及び意見交換を行い、生産施設の見学も実施した。



<主な質疑等>

- ・六郷米のブランドとしての浸透状況について
- ・肥料の使用状況について
- ・若い担い手の育成について